

実開平6-56310

(43)公開日 平成6年(1994)8月5日

(51)Int.C1.⁵E04F 15/04
B27M 3/04識別記号 F 7805-2E
府内整理番号 2101-2B

F I

技術表示箇所

(21)出願番号 実願平5-2838

(22)出願日 平成5年(1993)1月7日

審査請求 有 請求項の数1 FD (全2頁)

(71)出願人 000204985

大建工業株式会社

富山県東砺波郡井波町井波1番地の1

(72)考案者 山上 浩

大阪市北区中之島2-3-18 大建工業
株式会社内

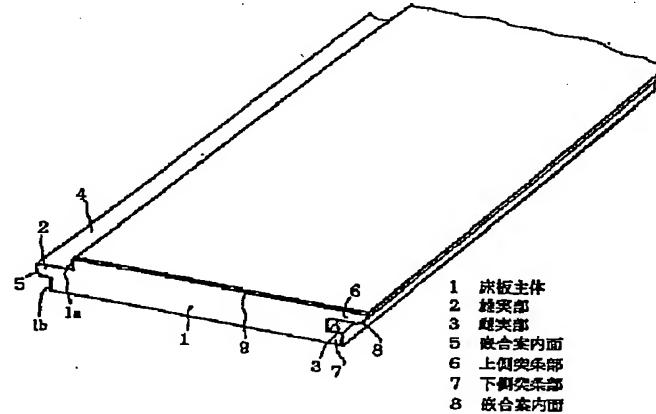
(74)代理人 弁理士 山本 孝

(54)【考案の名称】床板

(57)【要約】

【目的】 雄雄実部の嵌合が円滑に行われて施工性に優れた床板を提供する。

【構成】 床板主体1の一側端部中央に突設した雄実部2の先端面を上端から下面中央部に向かう円弧状の嵌合案内面5に形成すると共に該雄実部2の上面を幅広の嵌合平坦面4に形成する一方、他側端部中央に凹設した雌実部3の上側突条部6を下側突条部7よりも大きく突出させると共にその突出端面を円弧状の嵌合案内面8に形成した構造を有し、先に施工した床板の雄実部2の幅広嵌合平坦面4上に次に施工する床板の雌実部3の上側突条部6の円弧状嵌合案内面8を当接させ且つ下側突条部7の先端を雄実部2の円弧状嵌合案内面5に当接させた状態にして嵌め合わせるように構成している。



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】 一定厚みを有する長方形状床材主体の一側端面の中央部に雄実部を、他側端面の中央部に該雄実部が嵌合可能な形状を有する雄実部を夫々設けてなる床板において、雄実部の上面突出幅を下面突出幅よりも幅広い嵌合平坦面に形成すると共に該雄実部の突出端の上端から雄実部の下面間を斜め内方に傾斜する円弧状の嵌合案内面に形成し、さらに、雄実部の上下突条部における上側突条部を下側突条部よりもその突出幅を長く形成していると共にその突出端面を上端から雄実部の開口上端縁に向かって斜め内方に傾斜する円弧状の嵌合案内面に形成していることを特徴とする床板。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 本考案床板の一部を欠如した斜視図、

【図 2】 その縦断正面図、

【図 3】 施工状態を示す断面図、

【図 4】 接合した状態の断面図、

【図 5】 従来例を示す断面図、

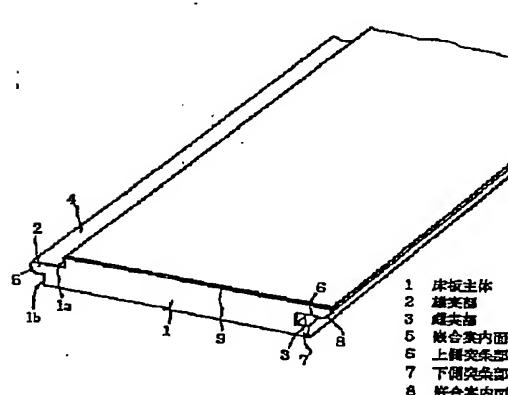
【図 6】 その施工状態を示す断面図、

【図 7】 他の構造を有する従来例の断面図。

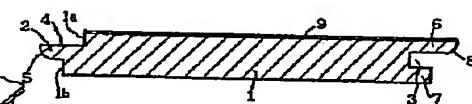
【符号の説明】

1	床板主体
2	雄実部
3	雄実部
4	幅広嵌合平坦面
5	嵌合案内面
6	上側突条部
7	下側突条部
8	嵌合案内面

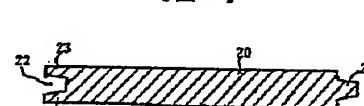
【図 1】



【図 2】



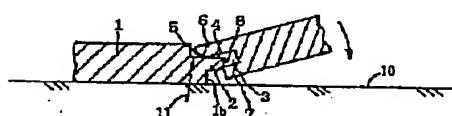
【図 5】



【図 7】



【図 3】



【図 4】



【図 6】

